

大和高田市 学校園と地域の未来を育む ワークショップ

本日の進め方

18：00～ 開会挨拶

18：05～ 大和高田市学校園施設再配置基本方針・
基本計画（案）について

18：30～ 休憩

18：35～ ワークショップ

19：53～ 閉会挨拶

20：00 終了予定

学校園の再編とは

学校園の再編の目的

全国的な少子化の進行

学校の小規模化

一定規模の
集団が不可欠

- 小規模校は「人間関係が深まりやすい」、「教員の目が届きやすい」などのメリットがある一方で…
- 学校は児童・生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていく場
- 人間関係の固定化や序列化が生じないように、各学年でクラス替えができることが望ましい
- 学習指導は、児童・生徒に多様な方法で指導したり、中学校においては専門的な教員が指導したりするため、一定の学校規模を確保し、一定の教員数で学校を運営していくことが望ましい

学校規模の適正化が必要

3

学校園の再編とは

学校園の再編の目的

学校規模の
適正化が必要

加えて
+

効果的な施設の維持管理、整備が必要

- 学校施設の老朽化による改修、建替え
- ICTに対応した学校施設の整備 等

➡ 教育環境の質の維持・向上をめざし「学校再編」に取り組めます。

4

学校園の再編とは

再編と統合の違い

大和高田市の考え方

	再編	統廃合
考え方	<u>新しい学校</u> として スタートします。	一方の学校を <u>廃校</u> にし もう一方の学校へ <u>吸収</u> します。
学校名等	学校名、校歌、校章等 <u>一から検討</u> します。	統合先の学校名、校歌、 校章等に <u>統一</u> します。
教育	それぞれの学校の特色ある 教育活動を踏まえて、 <u>新たに</u> <u>教育課程を編成</u> します。	<u>統合先の教育課程を</u> <u>基本</u> とします。

5

大和高田市学校園施設再配置基本方針・基本計画

策定経過

令和6年12月

アンケート調査の実施
(市民、児童、生徒、保護者、教職員)

令和6年11月 第1回
(全6回)

大和高田市 教育委員会
委員12名(学識経験者、自治会代表、PTA代表、
校長会代表、園長会代表)

令和7年11月 報告

大和高田市立小中学校(園)のこれからの教育環境のあり方について

令和7年12月

ワークショップの実施

令和8年2月頃

パブリックコメントの実施

令和8年3月

大和高田市学校園施設再配置基本方針・基本
計画策定予定

6

学校園を取り巻く現状と課題

社会の動向

- 予測困難なVUCAの時代の到来
- DXの進展・超スマート社会（Society5.0）の実現 等



- 一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要

「令和の日本型学校教育」の姿

個別最適な学び

協働的な学び

→ 主体的・対話的で深い学び

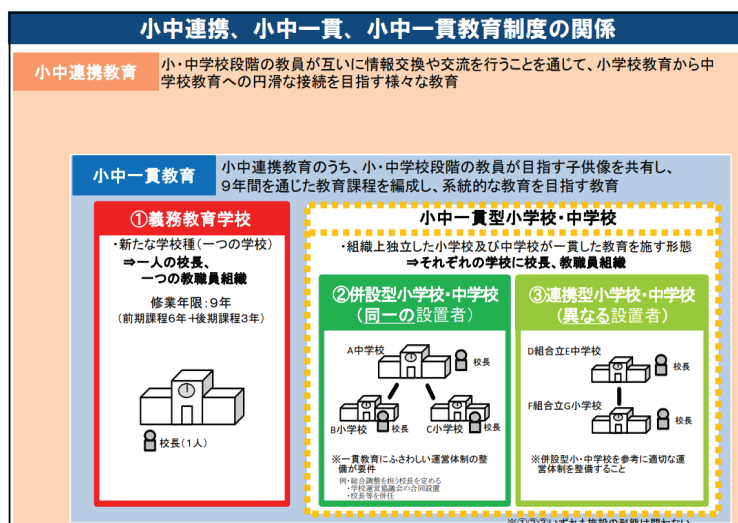
※参考：中央教育審議会「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）」

7

学校園を取り巻く現状と課題

小中一貫教育の推進

- 平成28年4月 小中一貫教育を推進するため
「義務教育学校」の設置が認められる



※出典：小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引（平成28年12月）

8

学校園を取り巻く現状と課題

大和高田市がめざす子ども像(大和高田市学校教育の指導方針)

元気いっぱい 未来を切り拓く子ども



豊かな感性をもち、自ら学ぼうとする子

多様性を認め合い、学び合い、共に生きる子

探求心をもって、ねばり強くやりとげる子



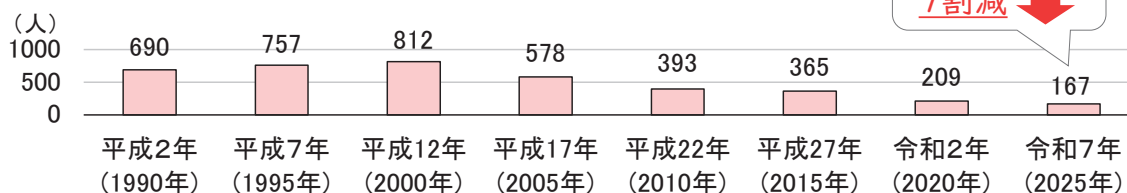
※令和7年度大和高田市学校教育の指導方針より

9

学校園を取り巻く現状と課題

園児数の推移

【幼稚園(市立のみ)の園児数の推移】



【令和7年5月1日現在の園児数】

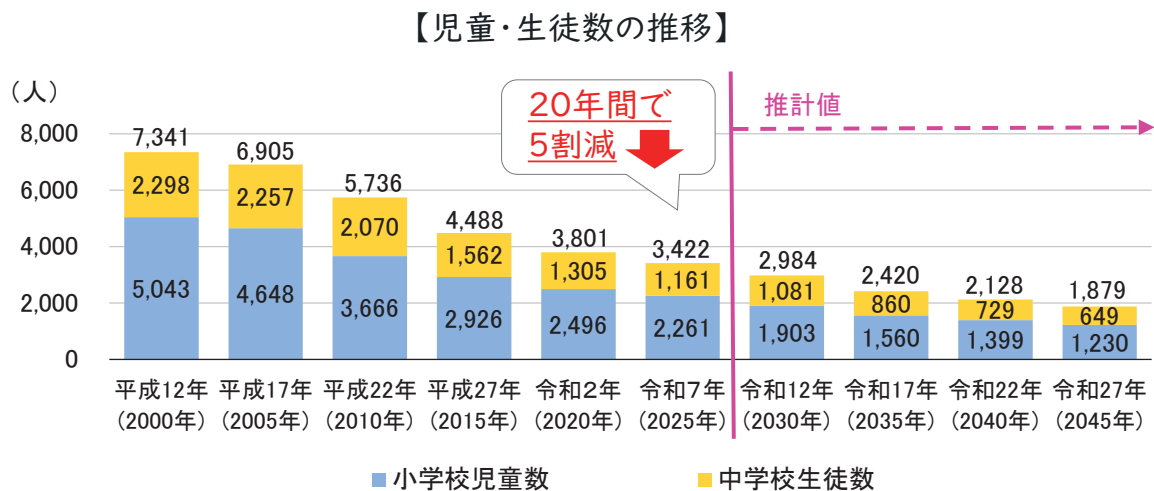
幼稚園	3歳児	4歳児	5歳児	合計
片塩	8	11	13	32
浮孔	7	15	13	35
磐園	5	8	13	26
陵西	5	8	10	23
菅原	5	11	7	23
浮孔西	8	7	13	28

※実績値(各年5月1日時点)

10

学校園を取り巻く現状と課題

児童・生徒数の推移



※実績値（各年5月1日時点）、推計値（令和2年国勢調査結果を基準としたコーホート要因法による推計値）

11

学校園を取り巻く現状と課題

児童生徒数は特別支援学級を含む学級数は普通学級のみ

児童・生徒数の推移（高田中学校区）

■ 学級数は小中学校ともに1学級あたりの人数を35人として試算

学校		実績	推計値			
		R7	R12	R17	R22	R27
片塩小学校※	児童数	298	260	215	189	160
	学級数	11	12	9	6	6
高田小学校	児童数	402	354	299	263	224
	学級数	13	12	12	12	10
土庫小学校	児童数	63	68	58	51	44
	学級数	6	6	6	6	6
高田中学校	生徒数	325	295	246	209	182
	学級数	9	9	9	7	6

※実績値（各年5月1日時点）、推計値（令和2年国勢調査結果を基準としたコーホート要因法による推計値）

12

学校園を取り巻く現状と課題

児童生徒数は特別支援学級を含む
学級数は普通学級のみ

児童・生徒数の推移（片塩中学校区）

■ 学級数は小中学校ともに1学級あたりの人数を35人として試算

学校		実績	推計値			
		R7	R12	R17	R22	R27
片塩小学校※	児童数	298	260	215	189	160
	学級数	11	12	9	6	6
浮孔小学校	児童数	324	257	203	183	165
	学級数	11	11	7	6	6
菅原小学校	児童数	318	239	155	144	132
	学級数	12	9	6	6	6
浮孔西小学校	児童数	268	204	167	149	136
	学級数	12	9	6	6	6
片塩中学校	生徒数	532	500	372	302	271
	学級数	14	15	13	9	9

※実績値（各年5月1日時点）、推計値（令和2年国勢調査結果を基準としたコーホート要因法による推計値）

13

学校園を取り巻く現状と課題

児童生徒数は特別支援学級を含む
学級数は普通学級のみ

児童・生徒数の推移（高田西中学校区）

■ 学級数は小中学校ともに1学級あたりの人数を35人として試算

学校		実績	推計値			
		R7	R12	R17	R22	R27
磐園小学校	児童数	314	282	234	209	183
	学級数	11	12	12	8	6
陵西小学校	児童数	274	239	229	211	186
	学級数	11	12	12	8	6
高田西中学校	生徒数	304	286	242	218	196
	学級数	9	9	9	8	6

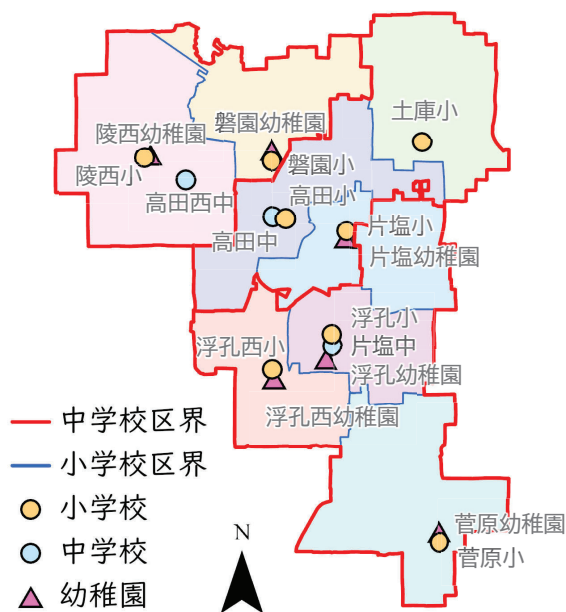
※実績値（各年5月1日時点）、推計値（令和2年国勢調査結果を基準としたコーホート要因法による推計値）

14

学校園を取り巻く現状と課題

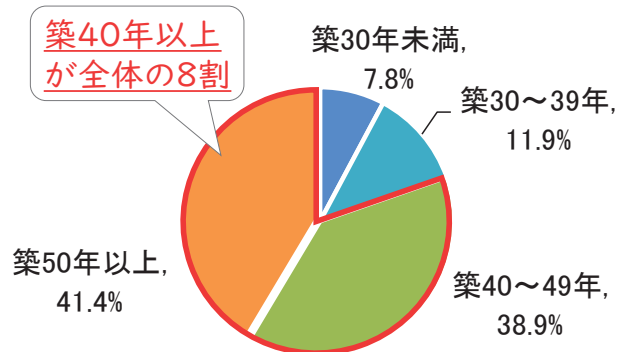
学校施設の配置状況

【学校園の施設位置図】



【学校園の施設築年数】

令和7年度時点



15

大和高田市における適正規模・適正配置

アンケート調査の実施

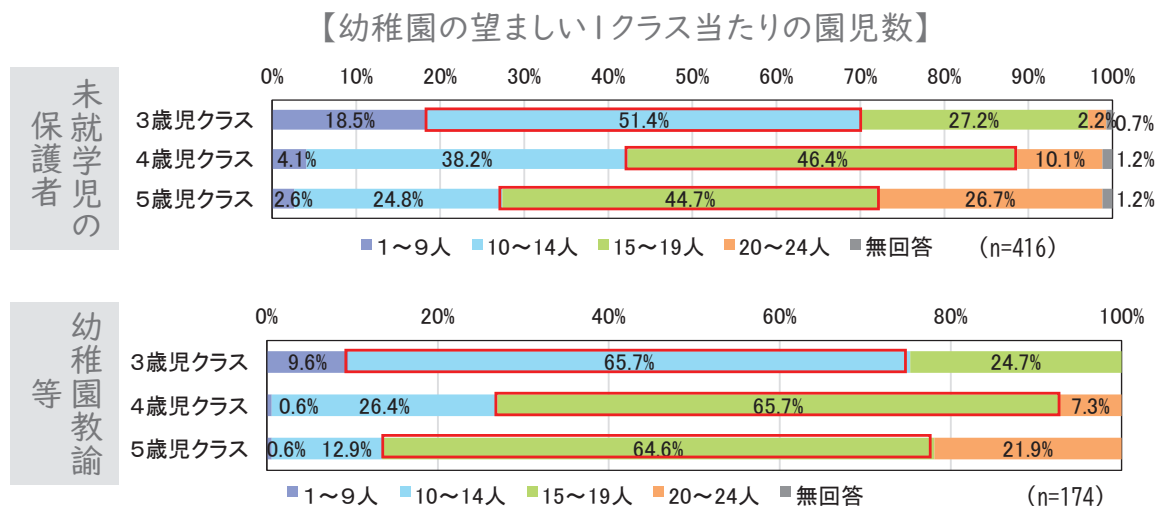
【アンケート調査の対象者(配布数/回答率)】

市民	18歳以上の市民2,000人(2,000票/28.4%) (無作為抽出)
児童・生徒	【児童】市内の小学校に通う小学5,6年生(768票/35.9%) 【生徒】市内の中学校に通う中学2年生(400票/31.3%)
他学校利用者	【保護者】市内小中学校の児童・生徒の保護者(1,531票/50.4%) 小学校:2,5,6年生/中学校:2年生 【教職員】市内小中学校の教育職員(300票/63.0%)
幼稚園利用者等	【保護者】市立幼稚園・こども園・保育所に通っているお子さまの保護者(955票/43.6%) 【教職員等】市立幼稚園・こども園・保育所の幼稚園教諭等(255票/69.8%)

大和高田市における適正規模・適正配置

アンケート調査結果（幼稚園の望ましい1クラス当たりの園児数）

■ 3歳児は「10～14人」が、4,5歳児は「15～19人」が最も多くなっています。



※n:回答者数

17

大和高田市における適正規模・適正配置

幼稚園の適正規模

適正規模



■ アンケート調査結果を踏まえ、望ましい園児数、学級数を年齢に合わせて設定します。

【幼稚園の望ましい1クラス当たりの園児数、学級数】

	1学級あたりの望ましい園児数	望ましい学級数
3歳児	10人以上	1学級以上
4歳児	15人以上	1学級以上
5歳児	15人以上	1学級以上

※本市の幼稚園設置規則では3歳児は20人以下、4歳児及び5歳児は30人以下を原則として運用しています。

18

大和高田市における適正規模・適正配置

幼稚園の適正規模に向けた対策と実施時期の考え方

- 大和高田市における適正規模に基づくと、令和7年度現在において、すべての園で基準を下回る学級がみられます。



- 就学前保育・教育ニーズの多様化への対応や地域の子育て機能の向上、老朽施設の建替え促進等の観点から、市立幼稚園単独で検討するのではなく、地域間での立地のバランスを考慮し、市立保育所、市立こども園とあわせた一体的な検討を進めていきます。



19

大和高田市における適正規模・適正配置

国の小学校・中学校の学級編成の標準・通学距離の考え方

【国の定める学級編成の標準・通学距離の考え方】

	1学級あたりの人数	学級数	通学距離(時間)
小学校	35人	12学級以上18学級以下 (<u>1学年あたり2~3学級</u>)	4km以内 (概ね1時間以内)
中学校	40人	12学級以上18学級以下 (<u>1学年あたり4~6学級</u>)	6km以内 (概ね1時間以内)
義務教育学校	前期課程は小学校に 後期課程は中学校に 準ずる	18学級以上27学級以下 (<u>1学年あたり2~3学級</u>)	6km以内

大和高田市における適正規模・適正配置

学校規模による教育環境の考え方

【標準規模化を進めることによって期待される効果】

学習面	・集団の中で<u>多様な考え方に触れる機会</u>や<u>学び合いの機会</u>、<u>切磋琢磨すること</u>を通じて、一人ひとりの資質や能力を伸ばしやすくなる ・児童・生徒、教職員がある程度確保され、<u>グループ学習</u>や<u>習熟度別学習</u>、<u>専科教員による指導</u>など、多様な学習・指導形態をとりやすくなる
生活面	・クラス替えがしやすいことなどから、豊かな人間関係の構築や多様な集団の形成を図りやすく、<u>人間関係の固定化を防ぎやすくなる</u> ・学校全体での<u>組織的な指導体制</u>を組みやすくなる
学校運営面	・教職員数がある程度確保できるため、経験教科、特性などの面で<u>バランスの取れた教職員配置</u>を行いやすくなる ・学年別や教科別の教職員同士で学習指導や生徒指導等についての<u>相談・研究・協力・切磋琢磨が行いやすくなる</u> ・校務分掌を組織的にやりやすくなる

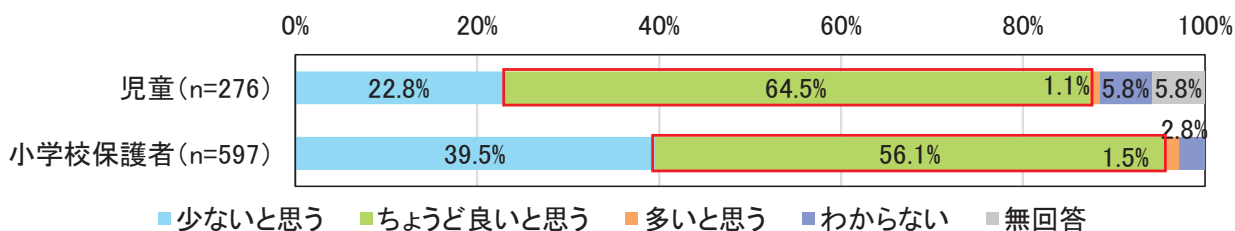
※参考：中央教育審議会の初等中等教育分科会「小・中学校の設置・運営のあり方等に関する作業部会資料」

21

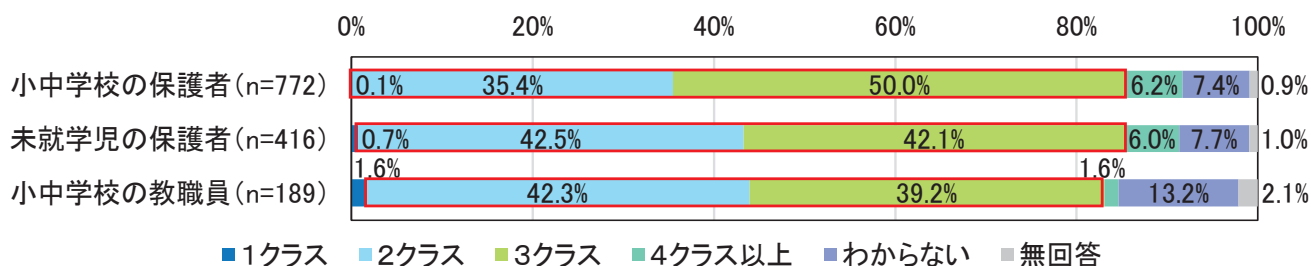
大和高田市における適正規模・適正配置

アンケート調査結果（小学校の望ましいクラス数）

【現在通っている小学校の1学年当たりのクラス数】



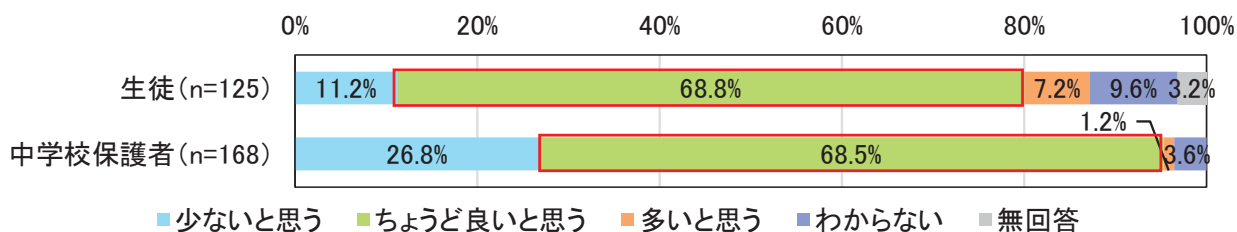
【小学校の望ましい1学年当たりのクラス数】



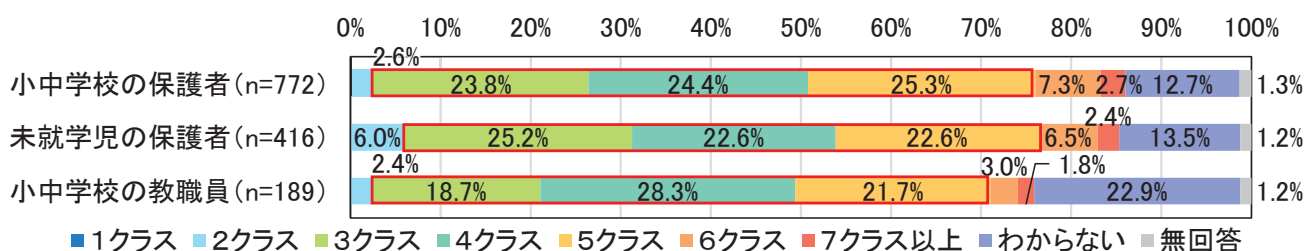
大和高田市における適正規模・適正配置

アンケート調査結果（中学校の望ましいクラス数）

【現在通っている中学校の1学年当たりのクラス数】



【中学校の望ましい1学年当たりのクラス数】



23

大和高田市における適正規模・適正配置

小学校・中学校の適正規模・適正配置

適正規模

- 国の基準やアンケート調査結果を踏まえ、小学校、中学校の望ましい規模を設定します。
- 義務教育学の検討を行う場合は、国の基準に準じるものとします。



【小学校、中学校、義務教育学校の適正規模】

	小規模	望ましい規模
小学校	11学級以下	12学級以上、18学級以下
中学校	8学級以下	9学級以上、18学級以下
義務教育学校	—	18学級以上、27学級以下

24

大和高田市における適正規模・適正配置

小学校・中学校の適正規模・適正配置

適正配置

- 通学区域の見直しを行う場合は、国の基準に準ずるものとします。
- 現状の通学区域における最長距離や最長時間を大幅に超える地域が生じる際は、保護者の負担のない、実情に合わせた支援策を検討し、引き続き、犯罪や交通事故の防止など、通学路の安全確保に努めます。



25

小学校・中学校の再編

再編の基本的な考え方

- 子ども達にとってより良い教育環境の実現
- 中長期的な視点での検討
- 中学校区をコミュニティの基本単位とした検討
- 地域とともにある学校づくりの推進



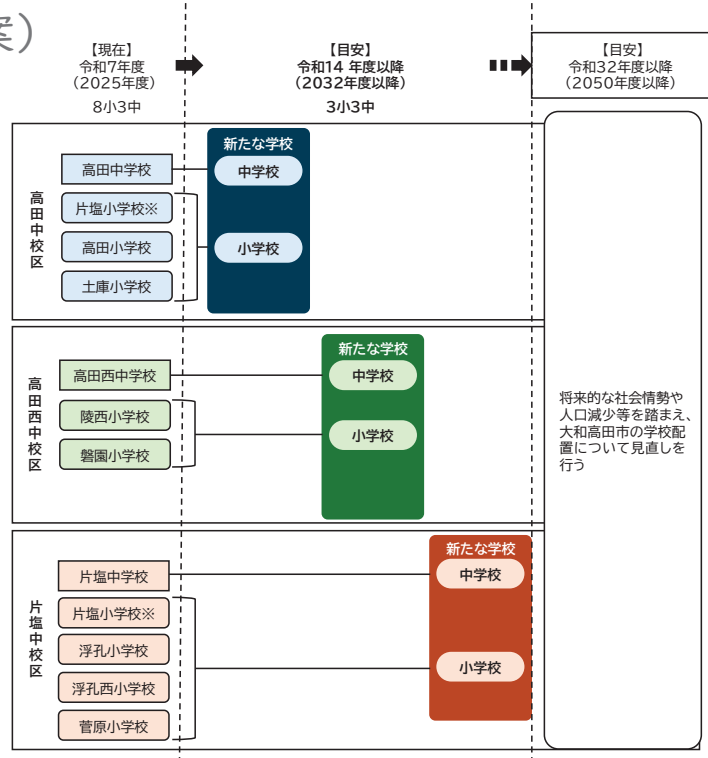
26

小学校・中学校の再編

想定する再配置のシナリオ(案)

■ 令和14年度
(2032年度)以降の
将来の目標校数を
小学校3校、中学校3校
とします

■ 義務教育学校の新設も含めた、
新たな学校の設置を
検討します



27

幼稚園・小学校・中学校の再編

新しい学校園をつくる上で考慮すべき視点

- 子ども達への配慮
- 教員不足への対応
- 新たな教育環境の整備
- 地域と連携した学校づくり
- 防災機能の強化
- 環境への配慮



ワークショップ

ワークショップの目的

■ 今日のワークショップは…

新しい学校園に向けた取組について
みなさんのアイデアをたくさん出し合う場です

大事なことは

- ・ 楽しむこと
- ・ なるほど/それいいね
- ・ そして手短に



29

ワークショップ

ワークショップのルール

① 自由な発想で、どんどん発言する

- ・ 思いついたら小さなことでも恥ずかしがらずに

② 違う意見を否定しない

- ・ 他の人の意見を最後まで聞きましょう
- ・ 便乗して思いついた意見も大歓迎
- ・ いいね！

③ 意見は短く、付せん1枚に意見は1つ

- ・ そのかわり、枚数制限はありません

30

ワークショップ

ワークの流れ

■自己紹介



ワーク1

■子ども、保護者、地域等の立場から、 新しい学校園へ向けた取組のよい点、気がかりな点

ワーク2

■よりよくするためのアイデア



■発表！

31

ワークショップ

シートの完成イメージ

大和高田市学校園と地域の未来を育むワークショップ			
【ワークシート】 中学校区			
班名 A 班			
	よい点	気がかりな点	新しい学校園を よりよくするためのアイデア
子ども			
保護者			
その他 関係者			

ワーク①
新しい学校園へ向けた取組の良い点、気がかりな点

ワーク②
①を踏まえた新しい学校園をより良くするためのアイデア
→地域で取組めるものをピックアップ

32

ワークショップ

5分

自己紹介

ひとり1分程度

■ お名前 ニックネームでもOK!

■ お住まいの小学校区

■ 学校園との関わりと
関わりのある学校園の印象



33

ワークショップ

25分

ワーク①

書き出し5分、発表と意見交換20分

■ 新しい学校園へむけた取組の

- ・ 良い点
- ・ 気がかりな点

を 子ども、保護者、地域の立場から
書き出して表に貼りましょう

- ・ 1つの付箋にひとつ
- ・ ささいなこと、率直な意見でOK!



34

ワーク②

書き出し5分、発表と意見交換15分

- 新しい学校園へむけた取組の
 - ・ より良くするためのアイデアを書き出す
 - ・ 書き出したアイデアの中から
地域で取組めるものをピックアップ

- ・ 1つの付箋にひとつ
- ・ ささいなこと、率直な意見でOK!

35

ワークショップ

発表

グループごとに前に出て
みなさんの意見を紹介してください

36